



熱弁を振るう落合さん（円内）とコーチ陣と試合を楽しむ子どもたち

浦和レッズが教室 思いやりの心学ぶ

9月3日、総合運動公園で浦和レッズハートフルサッカーが開催され、保育園児から中学生とその保護者など約40人が参加しました。コーチングスタッフキャプテンの落合弘さん（元サッカー日本代表）は講話で「技術があっても自分勝手な人はチームをバラバラにする。一番大切なのは心」と熱弁。「一生懸命やる・楽しむ・思いやり」が重要と繰り返しました。その後子どもたちはグラウンドでコーチ陣から指導を受け、試合では仲間や相手にも大きな声でエールを送り、全力でプレーしていました。

優勝目指し真剣勝負 牧場杯ゲートボール

第21回くずまき高原牧場杯ゲートボール大会は9月6日、もく・木ドームで4年ぶりに行われ、6チームが出場しました。開催にあたり理事長の鈴木重男町長は「第1回大会は屋外で台風に見舞われました。天候に左右されないこの会場で健康増進と交流を図ってください」と選手を激励しました。選手たちは優勝を目指して真剣勝負を繰り広げ、正確な打撃でゲートを通したりタッチが成功すると「ナイスボール」と声援を交わしていました。競技の結果「まべちがわ」が優勝しました。



真剣に打撃のコースを狙う選手



インターン生にインタビューする丸山さん

インターンシップで 現場ならではの経験

8月から9月にかけて葛巻型インターンシップが行われ、24人の大学生が役場や第三セクターなどで業務を体験しました。8月29日に広報係の業務を体験した丸山啓人さん（岩手県立大学3年、町出身）は、住民会計課で固定資産の現地調査を体験するインターン生を取材。職員からアドバイスを受けながらインタビューを行いました。丸山さんは「どのような質問をすれば良いか苦戦した。具体的な質問をしなければいけないと分かった」と話し、現場ならではの経験をした様子でした。

派遣職員に辞令交付 ワイン製造に携わる

9月1日、町特定地域づくり事業協同組合の派遣職員の辞令交付式が町長室で行われ、理事長の鈴木重男町長から盛悠史さん（24歳・青森県出身）に辞令が交付されました。鈴木町長は「組合を通じてさまざまな体験をし、自分に合った仕事を見つけて町で暮らし続けてください」と激励しました。㈱岩手くずまきワインに派遣される盛さんは「ワインの製造に携わることで岩手の産業に関わることができる。自信を持って製品を発信できるよう頑張りたい」と抱負を述べていました。



鈴木町長から辞令を受け取る盛さん

暑さ乗り越え品質高く 令和5年度花き共進会

9月8日、町産業振興協議会主催の花き共進会が産直ハウスくずまき高原で開催され、りんどうとトルコギキョウ計9点が出品されました。審査を行った八幡平農業改良普及センターの石川聡子さんは「今年は高温の影響で苦労したと思うが、良く整ったレベルの高い作品がそろっていた。頻りに農地に足を運んでいたのではないと思う」と出品者の努力を高く評価しました。審査の結果、りんどうは亀山勇子さん（星野）、トルコギキョウは亀山秀長さん（星野）が金賞を受賞しました。



りんどうの審査の様子（右から2人目が石川審査員）



懸命にボールをつなぐ選手たち

世代を超えて楽しむ ママさんバレー大会

第37回葛巻町ママさんバレーボール親善大会は9月3日、社会体育館で開催されました。大会は9人制で行われ、中高生から一般の混合メンバーで構成された3チームが出場しました。選手たちは明るく声を掛け合いながらボールをつなぎ、相手選手の好プレーにも拍手を送るなど笑顔いっぱいで試合を楽しんでいました。村中愛優さん（葛巻中3年）は「大人と一緒に試合をすると、普段とは違うボールが上がってくるのでおもしろい」と話し、世代を超えた試合を楽しんだ様子でした。